

**報道関係者各位**

～ 就労志向の『主婦』の時間活用:しゅふ活研究室アンケート～

# 自分より、家族・仕事優先8割

## 主婦が最も自由になれる時間は深夜

主婦に特化した人材サービスを展開する株式会社ビー・スタイル(本社:東京都新宿区、代表取締役:三原邦彦、以下ビー・スタイル)が運営する「しゅふ活研究室」は、自社に登録する就労志向を持つ主婦層に対し、1日の中の時間の使い方に関するアンケート調査を行いました。その結果、自分のプライベートな時間を犠牲にしても、家族や仕事を優先している実態が浮き彫りとなりました。

**【調査概要】**

調査手法:インターネットリサーチ(無記名式)

有効回答者数:273名(結婚経験を有す女性262名、未婚女性11名 全員女性)

調査実施日:2012年11月27日(火)から2012年12月9日(日)まで

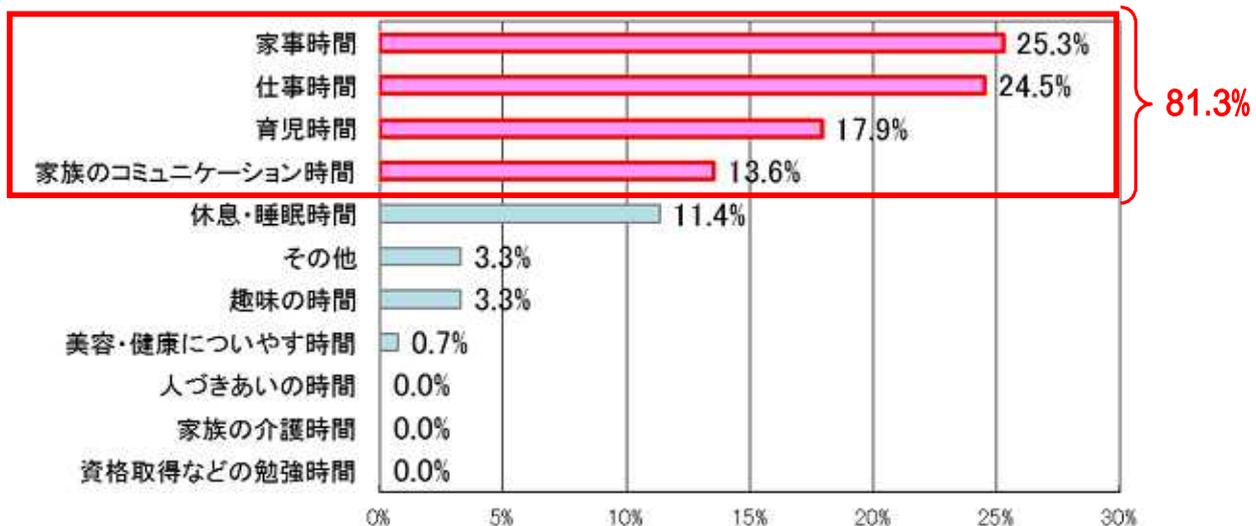
調査対象者:ビー・スタイル派遣登録者/求人媒体「しゅふJOB」会員登録者

**調査結果サマリー**

1. 就労志向の主婦の81.3%が、家族または仕事の時間を最優先している。
2. 家族の都合は考えない場合、本当は「趣味の時間を優先したい」という回答が最も多く28.2%。
3. 1日の中で自由になれる時間は、22時～深夜0時が42.1%で最多。

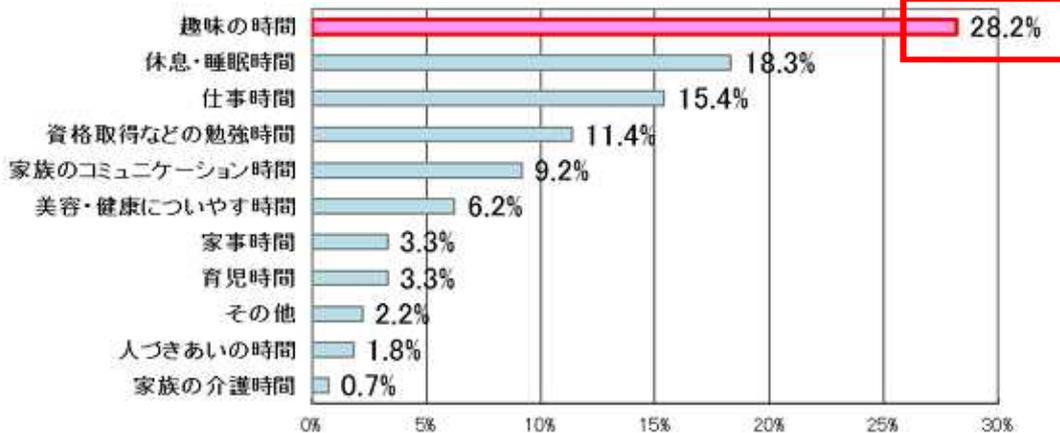
**1. 就労志向の主婦の81.3%が、家族または仕事の時間を最優先している。**

図1. 1日のなかで、最も優先している時間は何ですか？(n=273) 単一回答



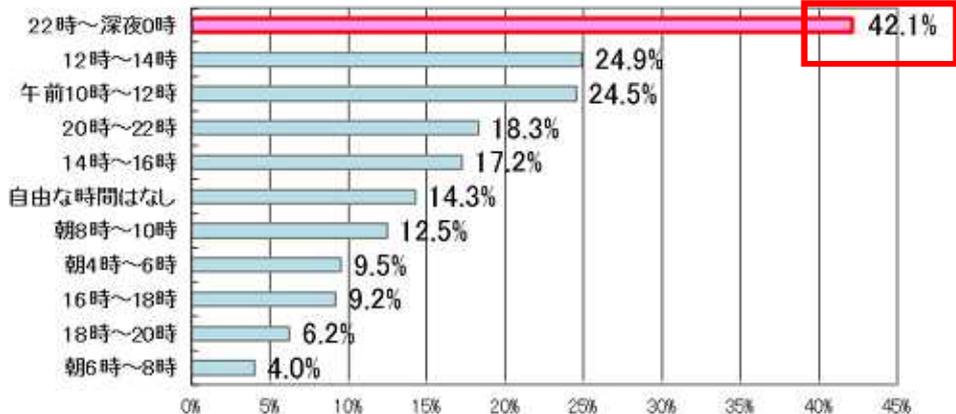
**2. 家族の都合は考えない場合、本当は「趣味の時間を優先したい」という回答が最も多く28.2%。**

図2. 家族の都合は考えず、あなた個人として本当は優先したい時間は何ですか？(n = 273) 単一回答



**3. 1日の中で自由になれる時間は、22時～深夜0時が42.1%で最多。**

図3. 1日のなかで自由になれる時間帯はいつですか？就寝時間以外で当てはまるだけお答えください。(n = 273) 複数回答



**仕事そのものより、家事・育児に負担感。  
働く主婦の理想と現実には、大きなギャップが存在しています。**

多くの主婦が、家庭の都合に合わせて時間配分しています。「家事」や「育児」時間について、「家族の都合は考えず優先したい」と回答した人はともに3.3%と少数であるのに対し、現実にはそれぞれ25.3%、17.9%が「最も優先」。その差は6～7倍以上に開きます。一方、最も優先したい時間として「趣味」を挙げる声が28.2%にのぼっているのに対し、実際に優先できているのはたった3.3%にすぎません。理想と現実との間に大きなギャップが厳然と存在しています。

一方「仕事時間」については、「実際に優先している」人が24.5%であることにに対し「本当は優先したい」人も15.4%存在します。家事・育児に比べその差は小さく、就労志向の主婦は、仕事そのものを大きな負担と感じている訳ではなさそうです。

4月、安部首相は成長戦略の中枢に「女性が活躍できる環境づくり」をかけた。結婚前の女性の活躍の場は、いまや男性とほとんど遜色がない状態となっています。しかしながら、結婚後の女性はキャリア継続が難しく、まだまだ活躍の場が整っていないと難しい現状があります。今回の調査で、就労志向の主婦が自由になれる時間は22時から深夜0時が一番多いという結果が出ました。自分の時間を制約することで、日中を家庭や仕事の時間に費やしている現状が見て取れます。ピー・スタイルでは在宅ワークなど、様々な時間的制約を持つ主婦層にとって少しでも多くの就労選択肢を提供し、主婦の皆様の幸せづくりに少しでも貢献していきたいと考えております。

< 株式会社ピー・スタイルについて >

企業理念は「best basic style」。時代に合わせて新たなスタンダードをつくる会社です。この理念に基づき、2002年の創業以来、働きたい主婦に対して就業支援を行って参りました。約11年間で生み出した主婦の雇用数はのべ3万人。女性がそれぞれの価値観、ライフスタイルに合わせて働ける社会の実現に向け、派遣・在宅・エグゼパートなど、様々な人材サービスを提供しています。

**本プレスリリースに関するお問い合わせ先**

(株)ピー・スタイル 広報担当:金子・川上・柴田 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 ダヴィンチ新宿ビル5F  
Tel:03-5363-4402 Fax:03-5363-4544 Mail:pr@b-style.net ホームページ:http://www.b-style.net/

報道関係者のかた向けに、当リリースに掲載しきれなかったアンケート結果をご用意しています。

本リリースの引用の際は、必ず「ピー・スタイル調べ」とクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。